

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第22回）議事概要

開催日及び場所	平成25年2月20日（水） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授） ○委員 田辺 孝二委員（東京工業大学大学院教授） 松浦 亨委員 （北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授） 和田 義博委員（公認会計士）	
審議対象期間	平成24年10月1日～平成24年12月31日	
個別審査案件	10件	○議事 (1) 平成24年度第3四半期の物品・役務等契約に係る審査 (2) その他
一般競争入札方式	4件	
最低価格方式	2件	
総合評価方式	2件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	6件	
企画競争	3件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	2件	
不落随意契約	1件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	個別に検討等を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成24年度第3四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① 小学校外国語活動実施状況調査（中学校調査）一式【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格と比較すると、落札額が相当に安価になっている（落札率61.7%）がなぜか。 ・ 昨年度の契約額と比較すると今年度の予定価格は相当安価になっているがなぜか。 ・ 今回13者も応札者を得られた理由は何か。 ・ よい事例なので水平展開をしてもらいたい。 <p>② 平成24年 秋の叙勲勲章伝達式のバス借上げ【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は、再度公告を行った案件だが、初回入札公告で落札に至らなかった理由は何か。 ・ 再度公告ということで、入札期間を5日間に短縮しているが、今回の件は予定価格の見直しを行ったという要素を考えると、通常の公告期間 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原因は不明であるが、落札者は参考見積価格も他社に比してかなり安い価格を提示しており、受注意欲が高かったものと考えられる。 ・ 昨年度の応札者は3者で、今年度は13者となり、競争性が向上した結果、昨年度より有利な市場調査結果が得られたものと考えている。 ・ 調査時期と件名の違いが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大震災や高速バスの事故等の影響により、初回予定価格の積算時には市場価格が去年と大きく異なっていることを、把握できなかったため入札が不調となった。

を設けるのが理想と考えられる。

③ 競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業【随意契約（企画競争方式）】（スポーツ・青少年局）

- ・競争を行った結果、企画を出してきた者が1者であったが、理由があるのか。
- ・応募者を増やすためにも、公募要領における応募可能者の例示方法を、もっと工夫した方がよいのではないか。
- ・審査委員はどのような方々か。

④ 2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業【随意契約（企画競争方式）】（スポーツ・青少年局）

- ・企画競争を行った結果、1者応募だったということだが、契約者以外に参加し得る競争者を想定していたのか。
- ・契約者の本来業務と、今回の契約における活動の仕分けが難しいと考えられるので、額の確定をしっかりとやってもらいたい。
- ・審査委員はどのような方々か。

⑤ 「学びのイノベーション事業（情報通信技術活用実証研究）〔中学校デジタル教材の研究開発〕」（中学校理科）【一般競争入札（総合評価落札方式）】（生涯学習政策局）

- ・規模や人材が確保できていない団体も多いと想像。周知不足もあるかもしれない。
- ・より多くの団体に応募いただけるようにしたい。
- ・大学の教授であるとか、スポーツ全体のジャーナリストの方である。

- ・普及啓発ということもあり、広告代理店等を想定した。
- ・しっかりと行う。
- ・大学の教授であるとか、スポーツ全体のジャーナリストの方である。

<ul style="list-style-type: none"> ・審査委員はどのような方々か。 ・審査委員によって、大分評価点に差があるが、なぜか。 ・委託後の成果の評価はどのように行われるのか。 ・調達内容が研究開発であることから、技術点に比べて価格点が低いウェートになっているが、案件の内容により柔軟に考えてよいと思うので、検討して欲しい。 技術審査委員の人数が多い場合は、一番上と下の点数を外して平均する等しても良いのではないか。 <p>⑥ 平成24年度カモシカモニタリング調査等解析に係る業務【一般競争入札（総合評価落札方式）】（文化庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要とされる作業量について、どのように確認を行ったのか。 ・額の確定時に、しっかり当初の見積もりと同じ実績になっているか調べて数値化して、仕様書にどの程度の作業量になるのかを示さないと、入札しにくいのではないか。 ・応札者に求める要求要件となっている「調査実績」については、その必要性も含め検討願いたい。 <p>⑦ 『第一次大極殿正殿 復元工事の記録』作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育工学の先生、教育現場の先生、大学教授等である。 ・各委員がどこにウェートを置いたかによると考えられる。 ・「学びのイノベーション推進協議会」で事業全体の評価を行うことになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・データ関係の調書等から類推している。 ・数値をもう少し具体化できるようであれば、次回以降の入札時の仕様書等に盛り込んでいきたい。
--	---

等業務【随意契約（企画競争方式）】（文化庁）

- ・企画競争で結果的に2者の応募があったが、継続事業であり、前年度契約者との随意契約で問題なかったのではないかと。
- ・印刷製本費等の見積金額の妥当性について額の確定の際に十分なチェックをして欲しい。

⑧ リアルタイム線量測定システム及び可搬型モニタリングポスト（富士電機株式会社製）の点検校正業務 一式【随意契約（競争性のない随意契約）】（大臣官房会計課）

- ・工数により予定価格が変動するが、どのように見積もったのか。
- ・随意契約ということもあるので、受注予定者から人工の内訳も示してもらい、このデータについて十分な検証を行って欲しい。

⑨ 放射線障害防止総合管理システムの改修業務 一式【随意契約（不落・不調随意契約）】（大臣官房会計課）

- ・不落随契にもかかわらず、落札率が80%台まで落ちているが、なぜか。

⑩ 特別支援学校における児童生徒の望ましい食事の提供に関する調査研究【随意契約（競争性のない随意契約）】（スポーツ・青少年局）

- ・(事業初年度は一般競争入札) 初年度は一者だが、

- ・過去の実績等から見積もっている。

- ・入札が不調となり、業者に社内での再検討をお願いした結果であり、原因は不明。

- ・やれるところはあるが、かなり少ないと聞いて

<p>他にはいなかったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> この事業は平成22年度から平成24年度の3年間で、初年度が一般競争入札で次年度以降は実績を踏まえて随契となっているが、公募で示されていたのか。 <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別に検討等を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。 	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 要項で定めており、最初に提示している。 <p>(以 上)</p>
--	---